

蒸し暑い日が続きますね。元気いっぱいの子どもたちも、汗をかきながら過ごしています。

先日は、保育参観・夏まつりにご参加いただきありがとうございました。子どもたちとしっ
かりふれあっていただきました。また今月は、プール・水遊びも始まり、今週末、しろぐみさ
んはお泊り保育があります。それぞれが楽しい夏の思い出になればと思います。

さて、来月は平和の集いを行います。今年是被爆 80 年の節目の年であり、広島ではたくさ
んの記念企画が執り行われますが、“つなぐ”という言葉がよくつかわれています。やさしい仏
の子に育ってくださいと子どもたちに接していますが、仏の子とは、自分だけでなく、周りの
人も大切にし、ありがとうとごめんなさいが素直に言える子のことです。子どもたちは仏さま
に手を合わせる時、「よい子になります。お友だちと仲良くします。」と、お約束してくれます。
子どもたちが持つやさしい心を多くの人に伝え、つないでいてもらいたいですね。

まだしばらく猛暑が続きますが、熱中症に気をつけ、楽しく夏を過ごしましょう！

日にち	行 事	備 考
1 日（金）	8 月生まれ誕生会	
6 日（水）	平和の集い	本堂にお参りをした後、原爆記念碑に参拝します。 よろしければ、 <u>お供えのお花を持たせてください。</u>
13 日（水）	お 盆	登園される方は、 <u>お弁当、水筒をお忘れなく。</u>
14 日（木）		
15 日（金）		
16 日（土）		
19 日（火）	避難訓練・身体測定	
22 日（金）	プール・水遊び 最終日 園庭開放 「ようきんさったで～」	10：00～11：00 水遊びを一緒に楽しみましょう！
27 日（水）	ぽるぽるダンス 収録	あか～しろぐみさんが参加します。

☆8 月の教室案内

・英語教室（ひよこ～しろ）7 日（木）

◎プール・水遊びは、月、水、金曜日に行います。（13 日（水）、15 日（金）はお休みです。）

◎8 月 2 日（土）～23 日（土）の期間は、合同保育です。 ※ももぐみの連絡帳はお休みです。

◎8 月 7 日（木）～30 日（土） 1 号認定児 夏季休暇

☆お布団は毎週持ち帰ってください。

☆10 月 3 日（金）親子遠足（あか～しろ）ひよこ～ももぐみは通常保育です。



鈴張こども園

幼保連携型認定こども園



@SUZUHARIKODOMOEN





ほけんだより



水遊びやどろんこ遊び、虫捕りなど、夏ならではの遊びを満喫している子どもたち。たくさん体を動かした後はモリモリご飯を食べて、しっかりと睡眠をとりましょう。熱中症予防のため、温度・湿度計の値を見て、晴れていても室内で遊ぶことがありますのでよろしく願いいたします

熱中症

熱中症は、日射病、熱射病などの総称です。日射病は、戸外で強い直射日光にさらされることが原因で、熱射病は室内でも気温の高い場所に長時間いたために起こることが原因です。



熱中症の症状

日射病…顔は赤く、呼吸が荒くなります。皮膚感覚は熱く、体温が上がっても汗が出ず、めまい・頭痛・吐き気を伴います。
熱射病…顔は青白く、大量の汗をかきます。皮膚感覚は冷たく、めまい・吐き気を伴います。

なぜ子どもは熱中症になりやすい？

子どもは体温調節がうまくできず、温度変化の影響を受けやすい、また衣服の着脱も水分補給も一人で行うのが難しいため、容易にかかりやすいのです。

車や家の中でも熱中症になります
特に車中では、気温が高くなっても高温になるので、子どもを一人にするのは絶対に避けましょう。

予防のポイント

- 日中は帽子をかぶって外出をしましょう。日除けのあるベビーカーも照り返しで暑くなるので、散歩はできるだけ短時間で切り上げましょう。
- 炎天下での遊びは、長時間に及ばないように注意しましょう。海や屋外プールなどの水辺でも、30分毎に日陰で休息をとるようにしましょう。
- 肩まで隠れる、吸湿性、吸水性に優れた衣服を選びましょう。
- 水分補給は、電解質の入っている経口補水液などの飲み物を与えましょう。



RS ウイルス感染症

気管支炎や肺炎などを起こすウイルス感染症で、冬場に乳幼児の多くが感染します。終生免疫ではなく、2歳までにほぼ100%感染すると言われていたため、毎年かかる子どもも多いようです。

症状

4～5日の潜伏期間の後、鼻水、咳、発熱などのかぜに似た症状が現れます。通常は1週間前後で回復しますが、なかには肺炎や気管支炎を発症する子どももいます。特に心肺の基礎疾患がある子は重症化しやすいので、注意が必要です。また、新生児、低出生体重児、生後6ヵ月未満の乳児も重症化しやすいと言われています。手洗い・うがい（乳児は外から帰ったら水を飲ませる）をしっかりと行い予防しましょう。



症状が軽い場合は、かぜを引いた時と同様、水分補給、睡眠、栄養、保温に注意し、安静にして経過を見ます。脱水気味になると、たんが粘稠になって吐き出すのが困難になるので、水分をこまめに与えましょう。